



本当にやる気があること



これまでも話したことがあると思いますが、宿題をやつて来ていなかったり、不規則動詞の過去形・過去分詞形を覚えて来ていなかったりする場合に生徒は、「やる気はあった」ということを言います。そしてそういう場合、すかさず「やる気があったらその時にやっていたはずだけど?」と問い返します。さらに「やる気があるヤツは、やってきていて、やる気がないヤツが『やる気はあった』というんだ!」と突っ込みます。実際、本当にそうだと思うのですが、そういう生徒たちの多くが相変わらず同じようなやり取りを繰り返してしまふことが多く、宿題が出来ない生徒たちに、いかに実際に行動に移すこと(ここでは宿題に取り掛かること)まで持つていくことが難しいかということを感じさせられます。ただ、社会に出て通用する考え方としては、「後回しにせず、やろうと思ったときに行動する」ということしかないと思います。生徒たちは決まっていたように「やろうと思った」という言葉を吐きますが、その時に少しでもやればいいのか。そして、決してたくさんやろうとするのではなく、「最低限ここまで」と、自分の身の丈に合った範囲をやるのが良いのです。そういう考え方をできるだけ早く身につけられるようにするの、個別指導の塾の役割だと考え、生徒たちには伝えていきます。

復習の大切さ

一度やった問題をもう一度自分で解き直したり、見直したりするという作業は非常に大切だと思います。それが出来ない生徒のいかに多いことか。そして、復習するときには、答えを見てはダメです。一旦答え合わせで○か×かになってから、自分だけの力で確認して、やはり自分の力だけでもう一度解き直してみることが良いのです。それでも×になるときは、最終的に教科書や資料集などを用いて確認していくことです。そういう練習を

習をしていけば、問題に取り組んだ際の手順を繰り返しているため、本番でも点数に結びつく形になっていくのです。一番効果的な学習法というのは、一度やった問題を自分で解き直したりすることなのに、最近の生徒たちを見てみると、それをせずに、自分なりの結果を伴えない勉強法に戻ってしまうことがいかに多いことでしょうか? そういうよくある「がちな」この範囲は全く分かっていないから、最初から復習する」などと考えた「一週間です」とか「10日で総復習」などといったタイトルのついた薄い教材に手を伸ばさないようにすることが重要です。



まずこれはまでにやった問題の復習をきちんとしておくことが重要なことです。

生徒の珍発言!?

(理科の授業で)
先生「小腸から大腸(だいちょう)に送られる」生徒「タイヨウじゃないんですか」先生「人体の中にタイヨウなんてないから!」

新江古田教室に異動になってからは、バイクで通勤して、教室から少し離れたところに駐車して、バイクに一枚の紙が刺してあり、それを取って見ると「果たし」と書いてあった。こんなこと書いてくるヤツは誰だ? と思いつつ、一旦無視しておいた。そしてその週末のある時に、そんな頭の良くない(いい意味で(笑))一人の生徒から「先生、俺からの果たし状読んだ?」と言われたのだ。多分こいつだろうという大体の見当はついていて、たのだが、さすが頭の悪いヤツのやりそうなことだ。まず、何の果たし状なのか分からない。かと言って本人に何の果たし状かを確認すると、ムダな(低レベルな)やり取りになってしまう。



ので、うやむやにしようと思っていたのに、まさか本人から確認されるとは(笑)。でも、話を聞いてみても何の果たし状だか訳が分からない。結局、ほとんど相手にしないまま、最初の目論見どおりうやむやになったのだった(笑)。こんなにインパクトがあるのに、顔も思い出せるのに、名前が出てこない。年というのは怖いものだ。それにしても、「果たし状」のアイツは、今、どこで何をしているのだろうか?

果たし状

お絵かきをTシャツにできます!
画伯の新作お待ちしてます

名入れ雑貨専門店
チャージ高円寺
03-6794-8229

CRAFT BEER & CURRY

〒166-0002
東京都杉並区高円寺北
4丁目2-24
電話 080-5913-8241
<https://www.facebook.com/andbeerkoenji>

モツの希少部位がオススメ!
是非堪能ください

中野店 TEL: 03-3388-1728
〒164-0001 中野区中野5-55-15 17時~22時30分 日曜・祝日定休日

荻窪本店 TEL: 03-3392-5870
〒167-0043 杉並区荻窪1-4-3 17時~23時 日曜・祝日定休日

やきとりの名門

秋吉 中野店 TEL: 03-3385-0071
〒164-0001 東京都中野区中野5-54-3 藤田ビル1F